

ツムラ  
今日までと、  
これからと。

株主・投資家の皆様へ



〈経営理念〉  
自然と健康を科学する



化学構造式を象った形状は、  
ツムラの「自然と健康を科学する」  
姿勢を表わしています。  
コーポレートカラーの  
ツムラセピアは、  
草根木皮が息吹く自然の恵みの  
源泉である「大地」の色を  
意味しています。

## Contents

|                                                                                           |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 株主の皆様へ                                                                                    | 1  |
| 決算レポート                                                                                    | 3  |
| トピックス                                                                                     | 5  |
| ・社会や人々のお役に立てる企業<br>人に優しい企業<br>・循環型企業を目指して<br>・新たな育薬処方<br>・万国外科学会議にて漢方薬に関する<br>ランチョンセミナー開催 |    |
| ツムラ通信                                                                                     | 9  |
| ・「安全で安心できる生薬の安定<br>確保」に向けて                                                                |    |
| 会社の概要・株式の状況                                                                               | 10 |
| 株主メモ                                                                                      | 11 |

# To Our Shareholders

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
「ツムラ 今日までと、これからと。」をお届けするにあたり、ここに改めまして、  
日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

### 「今日までと・・・」

#### 医療用漢方製剤は引き続き堅調に推移

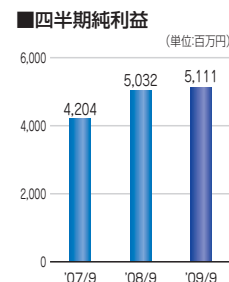
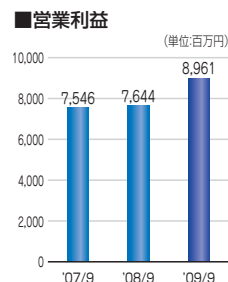
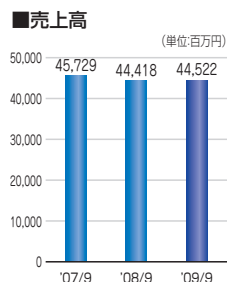
当第2四半期は前年同期に比べ増収増益となり、5月に策定しました「2009～  
2011年度中期経営計画（連結）」の初年度として、順調なスタートを切ることがで  
きました。売上高につきましては、前年同期比0.2%増の445億2,200万円、営業  
利益は同17.2%増の89億6,100万円となりました。第2四半期の営業利益としては  
過去最高益となり、営業利益率は20.1%と前年同期の営業利益率17.2%から大幅に  
上昇しました。なお、利益の増加に比べて、売上高が微増にとどまっているのは、  
ツムラ ライフサイエンス株式会社が前第2四半期から連結除外となったことによる  
影響です。

当社は、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献  
する」ことを目標として掲げ、これまで様々な施策を着実に推進してきました。

また、本年5月に策定しました「2009～2011年度中期経営計画（連結）」におい  
ては、「漢方医学の確立」「育薬の推進」など6つの中期活動目標をあげて、その達  
成に向けて積極的な取り組みを展開しています。

大学における漢方医学教育の支援活動、更なる育薬の推進とその成果の浸透を目  
指した専任MR制による大学病院・臨床研修指定病院での活動強化、各種の漢方医  
学セミナーや講演会・研究会の開催など、漢方が着実に伸長し続けるための体制を  
強化してきました。

様々な領域の疾患に漢方治療が取り入れられるようになり、129処方中113処方



が前年同期の売上高を上回りました。特に育薬処方  
である「ツムラ六君子湯」「ツムラ抑肝散」「ツムラ大建  
中湯」については、各種臨床研究とそれを裏付ける基  
礎研究が進み、エビデンスが確立されつつあることか  
ら、3処方合わせた売上高は前年同期に比べ23.5%伸  
長しています。その結果、医療用漢方製剤全体の売上  
高は前年同期に比べ8.6%伸長しました。

### 年間配当金を46円に増額修正

この度、第2四半期決算と同時に、配当につきまし  
て増額修正の発表を行いました。中間配当および期末  
配当をそれぞれ、1株あたり20円の予想に対して3円  
増額して23円とし、年間配当金を40円の予想に対し  
て6円増額して46円としました。

その結果、前期の年間配当金34円より12円の増額  
となります。

当社では、株主様に対する利益還元を会社の重要な  
政策と考え、今後も事業の継続的な成長を目指し、設  
備投資や毎期の業績、配当性向等をふまえ、増配を基  
調に安定配当を実施していく方針です。

### 「これからと・・・」

#### 通期の業績予想を上方修正

平成22年3月期の業績予想につきましては、引き続  
き医療用漢方製剤の売上が堅調に推移すると見込み、  
売上高は当初計画に対して3億円増額修正し、926億  
円としています。営業利益は9億円増額修正し、200  
億円としています。その結果、営業利益率は21.6%と  
なる見込みです。経常利益は7億円増額の200億円、  
当期純利益は3億円増額の116億円としています。

### 社会や人々のお役に立てる企業 人に優しい企業

当社はこれまで基本基調として「伝統と革新」を掲  
げ様々な施策を進めてまいりましたが、この7月に  
「社会や人々のお役に立てる企業 人に優しい企業」へ  
変更しました。

私が経営者として常日頃考えておりますことは、  
「企業として本当に社会のお役に立てているのか」と  
いうことです。ツムラは、「漢方薬」を通じて、病気  
でお困りの患者様・そのご家族の皆様にも少しでも貢献  
できるよう、企業努力を重ねています。さらに、漢  
方・生薬という事業を通じて、ツムラが真の意味で  
「役に立つ企業・優しい企業」になること、それが、  
更なる成長を遂げるための土台、つまり基本基調と  
考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご  
支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
芳 井 順 一

# Financial Report [Consolidated]

## ◆連結貸借対照表

(単位: 百万円)

| 科 目          | 当第2四半期<br>平成21年9月30日現在 | 前第2四半期<br>平成20年9月30日現在 |
|--------------|------------------------|------------------------|
| (資産の部)       |                        |                        |
| I. 流動資産      | 70,012                 | 66,408                 |
| II. 固定資産     | 60,392                 | 61,933                 |
| 有形固定資産       | 39,593                 | 38,491                 |
| 無形固定資産       | 344                    | 499                    |
| 投資その他の資産     | 20,454                 | 22,941                 |
| 資産合計         | 130,405                | 128,341                |
| (負債の部)       |                        |                        |
| I. 流動負債      | 41,855                 | 43,372                 |
| II. 固定負債     | 8,900                  | 10,673                 |
| 負債合計         | 50,756                 | 54,045                 |
| (純資産の部)      |                        |                        |
| I. 株主資本      | 77,828                 | 69,393                 |
| 資本金          | 19,487                 | 19,487                 |
| 資本剰余金        | 1,940                  | 1,940                  |
| 利益剰余金        | 56,780                 | 48,338                 |
| 自己株式         | △ 380                  | △ 373                  |
| II. 評価・換算差額等 | 964                    | 4,080                  |
| その他有価証券評価差額金 | 421                    | 2,714                  |
| 繰延ヘッジ損益      | △ 623                  | △ 382                  |
| 土地再評価差額金     | 1,775                  | 1,775                  |
| 為替換算調整勘定     | △ 608                  | △ 26                   |
| III. 少数株主持分  | 855                    | 822                    |
| 純資産合計        | 79,648                 | 74,295                 |
| 負債純資産合計      | 130,405                | 128,341                |

## ◆連結損益計算書

(単位: 百万円)

| 科 目          | 当第2四半期<br>自平成21年 4 月 1 日<br>至平成21年 9 月30日 | 前第2四半期<br>自平成20年 4 月 1 日<br>至平成20年 9 月30日 |
|--------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 売上高          | 44,522                                    | 44,418                                    |
| 売上原価         | 14,059                                    | 14,745                                    |
| 売上総利益        | 30,462                                    | 29,673                                    |
| 販売費及び一般管理費   | 21,500                                    | 22,029                                    |
| 営業利益         | 8,961                                     | 7,644                                     |
| 営業外収益        | 343                                       | 636                                       |
| 営業外費用        | 454                                       | 489                                       |
| 経常利益         | 8,851                                     | 7,792                                     |
| 特別利益         | 0                                         | 1,612                                     |
| 特別損失         | 98                                        | 1,169                                     |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,753                                     | 8,234                                     |
| 法人税等         | 3,621                                     | 3,164                                     |
| 少数株主利益       | 19                                        | 37                                        |
| 四半期純利益       | 5,111                                     | 5,032                                     |

## ◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| 科 目                    | 当第2四半期<br>自平成21年 4 月 1 日<br>至平成21年 9 月30日 | 前第2四半期<br>自平成20年 4 月 1 日<br>至平成20年 9 月30日 |
|------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 4,771                                     | 3,283                                     |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △ 3,029                                   | 100                                       |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー   | △ 2,511                                   | △ 3,262                                   |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額    | 26                                        | △ 4                                       |
| V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△) | △ 742                                     | 116                                       |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高      | 14,596                                    | 13,718                                    |
| VII 現金及び現金同等物の四半期末残高   | 13,853                                    | 13,834                                    |

## ◆決算ポイント

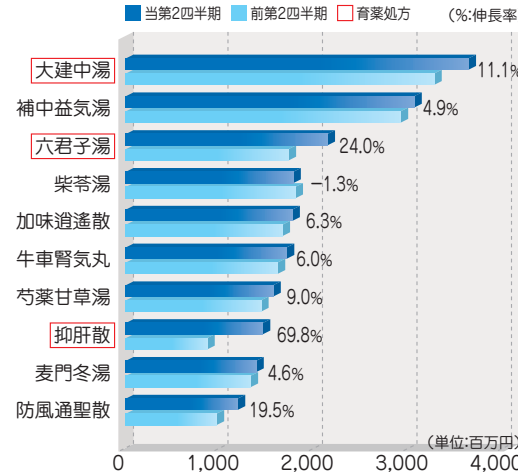
(単位: 百万円)

|             | 計 画    | 当第2四半期 | 計画比 | 前第2四半期 | 前年同期比 |
|-------------|--------|--------|-----|--------|-------|
| 売 上 高       | 44,500 | 44,522 | 22  | 44,418 | 103   |
| 営 業 利 益     | 8,200  | 8,961  | 761 | 7,644  | 1,317 |
| 経 常 利 益     | 8,300  | 8,851  | 551 | 7,792  | 1,059 |
| 四 半 期 純 利 益 | 4,800  | 5,111  | 311 | 5,032  | 78    |
| 営 業 利 益 率   | 18.4%  | 20.1%  | —   | 17.2%  | —     |

### ワンポイント解説

主力の医療用漢方製剤は、数量ベースで前年同期比10.3%伸長しており、医薬品の売上高は堅調に推移しています。(前年同期には、家庭用品事業子会社であるツムラ ライフサイエンス株式会社及び外用抗真菌剤アスタットの売上が含まれておりました。)  
当第2四半期は売上・利益ともに計画を達成しました。また、営業利益率は20.1%(第2四半期最高益)となり、前年同期(17.2%)を上回り、収益性は大きく向上しています。

## ●ツムラ医療用漢方製剤 売上高トップ10と育薬処方



| 処方名                 | 主に使われている疾患・症状                     |
|---------------------|-----------------------------------|
| (だいけんちゅうとう) 大建中湯    | イレウスに伴う腹痛、腹部膨満感                   |
| (ほちゅうえきとう) 補中益気湯    | 術後の体力増強、食欲不振 など                   |
| (りっくんしとう) 六君子湯      | 胃炎、食欲不振、機能性の胃腸症                   |
| (さいれいとう) 柴苓湯        | 浮腫を伴う疾患、急性胃腸炎                     |
| (かみしょうようさん) 加味逍遙散   | 更年期障害に伴う様々な症状                     |
| (ごしゃじんきがん) 牛車腎気丸    | 頻尿、腰痛、しびれ(糖尿病性神経障害、抗がん剤の副作用緩和 など) |
| (しゃくやくかんぞうとう) 芍薬甘草湯 | 筋肉のけいれんを伴う痛み(こむらがえり など)           |
| (よくかんさん) 抑肝散        | 神経症、認知症にみられる周辺症状                  |
| (ばくもんどうとう) 麦門冬湯     | 咳(感冒、気管支炎 など)                     |
| (ぼうふうつうしょうさん) 防風通聖散 | 肥満症、むくみ、便秘                        |

### ツムラホームページへアクセスしてください

※漢方にも詳しいお医者様をご紹介します。



全国の医療機関の中から漢方に詳しいお医者さんを探せます。

※漢方に関する情報が満載です。



お悩み別漢方など、情報が満載！楽しく漢方学を学べます。

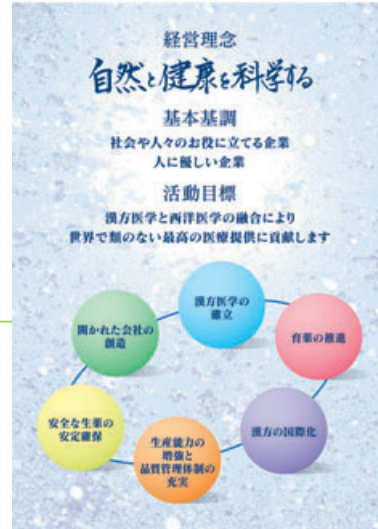
### ＜ご注意願います！＞

漢方薬は、ひとりひとりの体質や症状を考慮して処方される薬です。したがって、同じ症状・病気でも同じ薬が処方されるとは限りません。必ず、医師の診察あるいは薬剤師の指導を受けていただくようお願いします。

## 社会や人々のお役に立てる企業 人に優しい企業

当社は、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを目標に掲げています。両医学を融合することで、人に優しい医療の提供に、より一層貢献できるものと考えます。患者様、そのご家族をはじめ医師、薬剤師の皆様、株主の皆様、取引先、地域社会、そして社員といった全てのステークホルダーにとって優しい会社でありたいと願っています。

2009年7月、当社は基本基調を変更し、「社会や人々のお役に立てる企業 人に優しい企業」であることを、事業を行なう上での中心に据えました。



### 北海道における生薬事業の子会社「株夕張ツムラ」の設立

日本国内においては、北海道を含め5ヶ所の栽培拠点※があります。北海道では、機械化による大規模栽培により生薬コストの削減が期待できることから、夕張市に生薬の生産・加工・保管拠点を設け、北海道における原料生薬の栽培を拡大することとしました。

夕張市は年間の平均気温が低いため、低温倉庫にかかる費用を抑えることが期待できます。物流面でも、札幌市・新千歳空港・苫小牧港にも近く、利便性があると考えています。

また、夕張市を北海道における当社の拠点とすることで、少しでも経済的な地域貢献に繋がればと考えています。

※ 5ヶ所の栽培拠点：北海道・岩手県・群馬県・和歌山県・高知県

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 2009年 7月  | 株夕張ツムラ設立             |
| 10月       | 自社農場における生薬栽培を開始      |
| 2010年 10月 | 生薬加工場、保管倉庫及び事務所の竣工予定 |

### 夕張市の雇用創出

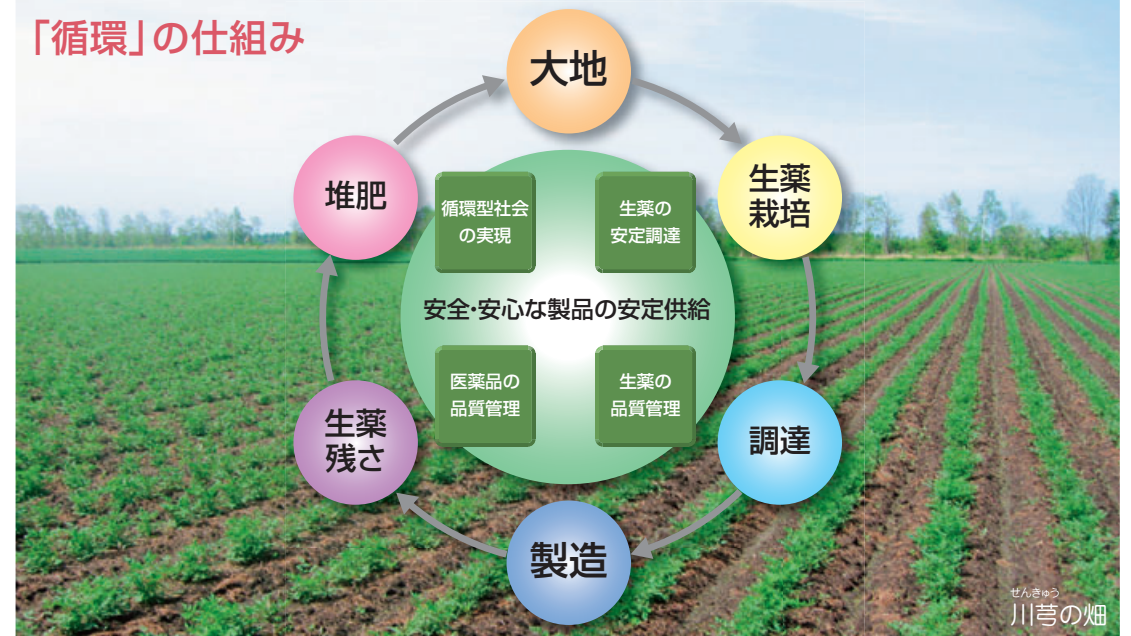
株夕張ツムラでは、(現時点において)10年後に最大で延べ200名程度の雇用ができるものと試算しています。

同社加工場については、バリアフリーに対応するなど障がいを持たれている方たちの雇用環境を整える検討もはじめました。例えば、生薬が流れてくるベルトコンベアーの高さを、車椅子を利用される方たちに合わせるなど、従業員全員が協力して働けるよう検討しています。

当社は社員を大事にし、漢方・生薬事業を通じて「社会や人々のお役に立てる企業 人に優しい企業」でありたいと願っています。

## 循環型企業を目指して

### 「循環」の仕組み



当社の事業活動において、漢方薬を製造すると生薬残さ※1が生じます。

現在、この生薬残さを産業廃棄物として有料で処理を委託しており、堆肥化などで全量を再資源化しています。

今後は、中国の工場も含めたツムラグループ全体で、生薬残さから堆肥化への「循環」の仕組みを構築すべく、更なる検討を進めていきます。

また、生薬残さからバイオエタノール※2を作る研究も進めており、バイオエタノールの生成が可能であることがわかってきました。現在、バイオエタノール生成設備導入の可能性を採算性や設置スペースなどの観点から検討しています。

生薬残さのバイオエタノール化が実現すれば、得られたエタノールを工場の燃料の一部として使うことができ、CO<sub>2</sub>の削減が可能となります。更には、バイオエタノールを作った後の残さは、火力発電所の燃料などになります。

自然から生まれた生薬が漢方薬となり、患者様のお役に立ち、漢方薬を製造する過程で生じた生薬残さは肥料として農家で使用され、一方では、バイオエタノールとしてCO<sub>2</sub>を削減し、さらにその残さが燃料などになります。当社では、そのような循環型の企業を目指しています。

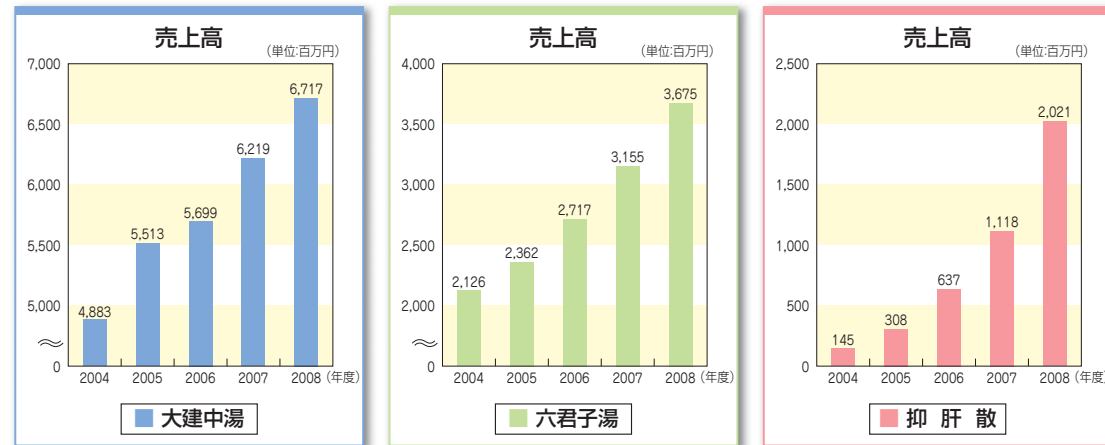
※1. 生薬残さ：エキスを抽出したあとの生薬の残り。

※2. バイオエタノール：さとうきびなどの植物を原料として、これらを発酵させて作るエタノールのこと。

## 新たな育薬処方

「育薬」とは、医療ニーズの高い領域で、新薬での治療に困っている疾患で、漢方薬が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、臨床および基礎データの集積を行なっていくことです。

これまでの5年間、「ツムラ大建中湯」<sup>だいけんちゅうとう</sup>「ツムラ六君子湯」<sup>りっくんしとう</sup>「ツムラ抑肝散」<sup>よくかんさん</sup>3処方の育薬に継続して取り組み、各種臨床研究と効果を裏付ける基礎研究が進みました。  
その結果、学会発表や論文発表が国内のみならず海外においても数多くなされ、エビデンスの確立が進むとともに、育薬3処方の売上も着実に伸長しています。



2009年11月、新たに「がん領域」において、育薬処方を追加しました。抗がん剤<sup>こしゃんきがん</sup>が引き起こす有害事象を軽減させる効果が期待できる漢方製剤として、「ツムラ牛車腎気丸」および「ツムラ半夏瀉心湯」<sup>はんげしゃしんとう</sup>の2処方を加えました。  
がん領域では、新しい抗がん剤が次々と開発されており、これらの最先端の治療薬が持つ薬効を落とすことなく、その薬剤が引き起こす有害事象を漢方製剤の投与によって軽減させる効果が期待されています。

## 「育薬」追加処方

### ◆TJ-107

牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)

【ターゲット】  
オキサリプラチン(大腸がんの治療薬)投与に伴う神経毒性による「しびれ」

### ◆TJ-14

半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)

【ターゲット】  
イリノテカン(肺がんの治療薬)による「下痢」

## 万国外科学会議にて漢方薬に関するランチョンセミナー開催



開催日：2009年9月8日(火)  
開催場所：オーストラリア・アデレード  
コンベンションセンター

座長：北島 政樹 先生(国際医療福祉大学 学長)  
演者：河野 透 先生(旭川医科大学 准教授)  
島田 光生 先生(徳島大学 教授)

本年9月、オーストラリア・アデレードにて「第43回万国外科学会議」が開催され、漢方薬に関するランチョンセミナーが実施されました。

万国外科学会議は、世界の外科医に結成を呼びかけて作られた世界で最も歴史ある国際外科学会議で、2年に一度開催されています。

今回のランチョンセミナーでは、「代替医療からの脱出-新しい術後管理方法の可能性-」と題して、大建中湯を中心とした漢方薬の基礎・臨床研究に関する最新のエビデンスが発表されました。参加された方々から「漢方は代替医療ではない」、「漢方薬は素晴らしい医薬品です」などの評価を頂き、現在集められている漢方のエビデンスが世界に通用することが示され、当社は大きな成果があったと考えております。

## 「安全で安心できる生薬の安定確保」に向けて



### 中国 今後も主たる調達国

- 野生生薬の栽培化、砂漠化防止

### 日本 国内栽培の強化

- 北海道中心に拡大

### ラオス 自社農場によるトレーサビリティ体制の強化

- 2009年度 現地法人設立予定

## ラオス人民民主共和国ブアソーン首相と会談

2009年5月21日(木)、当社社長がラオス人民民主共和国のブアソーン首相と会談を行いました。当社は「安全で安心できる生薬の安定確保」に向けて、中国以外の東南アジア諸国から調達しているトレースが難しい生薬について、自社栽培することによりトレーサビリティ100%を達成する目的で、2005年からラオスにて試験栽培を実施してきました。その結果、現時点で20品目程度の生薬について栽培が可能なのがわかり、2009年度中にラオスにて、現地法人設立を予定しています。このラオスでの栽培事業について意見交換を行い、非常に有意義で貴重な会談となりました。



## 2009年ツムラ中国協力会開催(12月2日)

2009年12月2日(水)、中国の深圳市にてツムラ中国協力会が開催されました。ツムラ中国協力会は、中国の産地会社の役職員など総勢100名をお招きし、当社から、参加された皆様に日頃のご支援に対する感謝の気持ちをお伝えするとともに、当社の原料生薬に関する方針や取り組み(残留農薬の安全性に関する試験の実施など)について一層の理解を得ることを目的として開催されました。当社は、産地会社の方々とのコミュニケーションを大切に、「安全で安心できる生薬の安定確保」に向けて、より一層努力していきます。

(平成21年9月30日現在)

## ●会社概要

本 社 東京都港区赤坂二丁目17番11号  
創 業 明治26年4月10日  
設 立 昭和11年4月25日  
資 本 金 194.87億円  
従業員数 (単体) 2,270名 (就業人員数)  
(連結) 2,704名 (就業人員数)

## ●役員

代表取締役社長 芳井 順一  
専務取締役 久島 正史  
常務取締役 森 善樹  
常務取締役 市尾 義昌  
取締役 上田 賢示  
取締役 荒井 聡  
取締役 田中 典裕  
取締役 杉田 亨  
常勤監査役 村山 努  
常勤監査役 桑原 耕三  
監査役 湯佐 富治  
監査役 野田 聖子

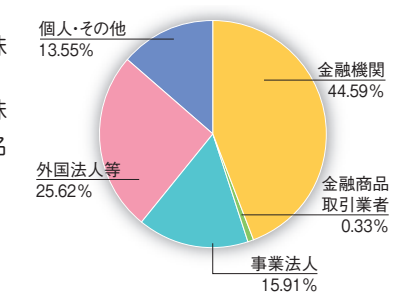
## ●連結子会社

国内 株式会社ロジテムツムラ  
株式会社クリエイティブサービス  
海外 深圳津村薬業有限公司  
上海津村製薬有限公司  
TSUMURA USA, INC.

## ●株式の状況

発行可能株式総数 250,000,000株  
発行済株式の総数 70,771,662株  
株主数 7,923名

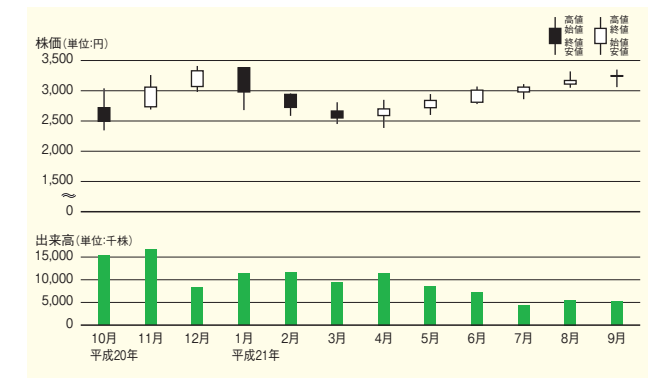
## 〈所有者別株式数分布状況〉



## 〈大株主〉

| 株 主 名                                   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------------------|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)               | 9,356   | 13.22   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                 | 5,777   | 8.16    |
| 株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行               | 2,697   | 3.81    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)              | 2,429   | 3.43    |
| ツムラグループ従業員持株会                           | 1,655   | 2.34    |
| 第一三共株式会社                                | 1,525   | 2.15    |
| 大日本住友製薬株式会社                             | 1,092   | 1.54    |
| ザチエスマンハッタンバンクエヌエイロンドン<br>エスエルオムニバスアカウント | 924     | 1.31    |
| 住友不動産株式会社                               | 791     | 1.12    |
| サ ジ ヤ ッ ブ                               | 776     | 1.10    |

## ●株価推移 (平成20年10月～平成21年9月)



# 株主メモ

|                   |                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度              | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                                                                                                            |
| 期末配当金受領日<br>株主確定日 | 3月31日                                                                                                                                                                                                   |
| 中間配当金受領日<br>株主確定日 | 9月30日                                                                                                                                                                                                   |
| 定時株主総会            | 毎年6月                                                                                                                                                                                                    |
| 株主名簿管理人           | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                                                           |
| 特別口座の口座管理機関       |                                                                                                                                                                                                         |
| 同連絡先              | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711（通話料無料）                                                                                                                           |
| 上場証券取引所           | 東京証券取引所                                                                                                                                                                                                 |
| 公告の方法             | 電子公告により行います。<br>公告掲載URL<br><a href="http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm">http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm</a><br><small>(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)</small> |

## ご注意

1. 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度の廃止について

当社は、平成21年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上ご所有の株主様に対する優待品の贈呈を最後としまして、株主優待制度を廃止させていただきました。（平成21年5月14日 発表）



〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号  
TEL (03) 6361-7101